

下水道事業等経営戦略の見直しに関するパブリックコメント

(ご意見) 現在、つつじ台区は戸建て約 270 戸、アパート 30 棟(約 200 戸)、概ね 500 戸の住民が生活している。団地建設当時から共同浄化施設が作られ、40 年以上が経過し老朽化が明白で重大な懸案である。10 年以上前から町の下水道への接続を強く要望しているが、業者所有の施設設備の町への寄付の問題や各住民負担金等のハードルが高く、これまで実現できていない。TSMC の進出以降、つつじ台ではアパートやマンションの建設ラッシュが続いており、脆弱なインフラが露呈している。特に道路と下水道の問題は喫緊の課題となっており、住民生活へ大きな不安を与えている。TSMC 第 2 工場の着工により、住宅のみならず、関連企業や倉庫・工場等の進出も予想され、工業廃水や汚水処理の対応を早急に手を打たないと、住民生活の崩壊に繋がる。これは、つつじ台区だけの問題ではなく、源場区、桜丘区を含めた南杉水地区を含む杉水地区全体の問題であり、町の都市計画全体に影響を及ぼすものと考えます。ついては、今般、下水道事業等経営戦略の見直しに関するパブリックコメントとして、つつじ台区の共同浄化施設から町の下水道への接続を強く要望するものである。この要望に関しては、令和 5 年 12 月に下水道課と話し合いを持ったが、つつじ台自治会単独では到底達成できるものではなく、町(行政)の下水道事業経営戦略に組込んで頂き、長期的な展望と実現のためのロードマップ等作成がはじめの一步と考えている。つつじ台区は TSMC やセミコンテクノパークの北側に隣接する住宅地であり、急速な開発の影響をまともに受けている状況をご理解いただき、下水道整備に関し格段のご配慮をお願いするものである。

(町の考え方)

公共下水道を整備しようとする時は、下水道法により事業計画を定めることとなっており、本町では、社会情勢の変化に併せ適宜、大津町公共下水道事業計画を見直ししています。その事業計画の中で下水道を整備すべき区域を定めており(以下「事業計画区域」、つつじ台区も事業計画区域として定めていますので、他の地区と同様に下水道の整備を推進すべきと考えています。つつじ台区においては、民間所有の汚水処理施設にて集中処理されており、施設の所有者が管理、運営を行っていますので、つつじ台区、所有者、町の三者で協議を進めながら公共下水道編入に向けて調整出来ればと考えています。

経営戦略においても、つつじ台区を含めた事業計画区域の下水道整備を推進することを、改めて盛り込みたいと思います。